

令和2年度 全事務事業見直しについて

総務財政委員会
令和2年9月14・15日
企画経営部 資料1
所管 企画課

I 事務事業の見直し・再構築の概要

1 目的・めざす姿

★新型コロナウイルス感染症の拡大防止と、区民生活及び区内経済等を支える緊急対応等の喫緊の課題に、迅速かつ的確に対応するため、全ての事務事業について見直しを行い、貴重な経営資源を再配分し、より効率的・効果的な行政経営を実現する。

2 見直しの視点

- ①業務の効率化、生産性の向上
- ②公民連携等多様な手法の活用
- ③ICTの導入推進

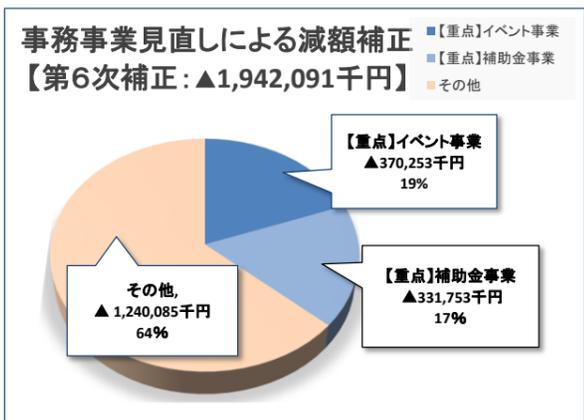
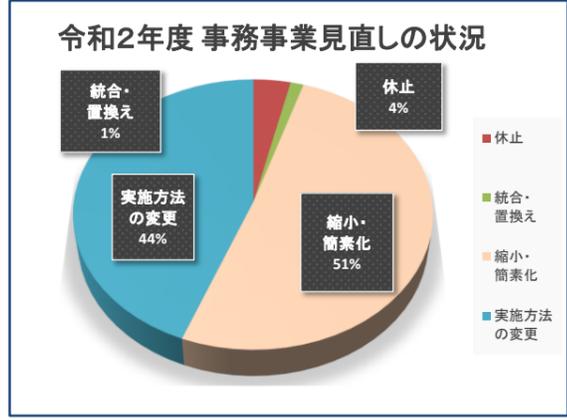
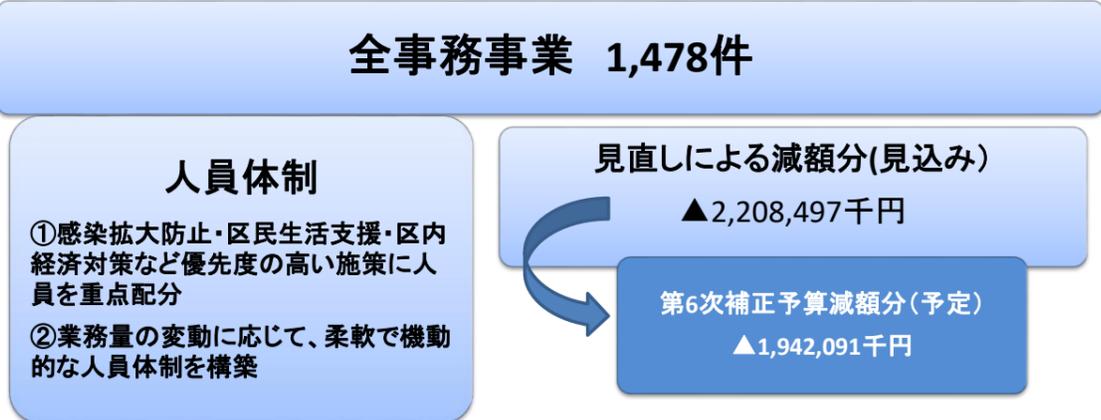


3 重点的に見直す事務事業

- ①イベント事業
- ②補助金事業
- ③窓口・問合せ対応業務、申請受付・入力業務
- ④近年新たに開始した事業
(概ね過去10年の間に開始したもの)



II 事務事業の見直しによる効果



見直しの取組み事例

【イベント事業】

- ・目的・世代・地域特性に合わせ効果的・効率的に再編
- ・単独開催ではなく、面的に回遊性を持たせるための開催方法に変更
- ・動画、写真等を素材にインターネット等を利用した非接触型の手法に変更
- ・WEB会議等の活用

など



【補助金事業】

- ・目的や対象者が類似している補助金を統合・整理し、区民へ分かりやすくより効果的な事業へ再編
- ・補助の成果や効果を検証したうえで、地域や協力団体と連携した新たな仕組みに再構築

など

【窓口・問合せ対応業務、申請受付、入力業務】

- ・オンライン手続きの拡充
- ・RPAの利用拡大
- ・AI・チャットボットの拡充
- ・キャッシュレスの導入検討
- ・申請に関する説明動画の配信による情報提供の拡充

など

